

有機顔料中のポリ塩化ビフェニル（PCB）の分析について

（財）ひょうご環境創造協会

平成 24 年 2 月 10 日、経済産業省より「[非意図的にポリ塩化ビフェニルを含有する可能性がある有機顔料について](#)」が発表されました。

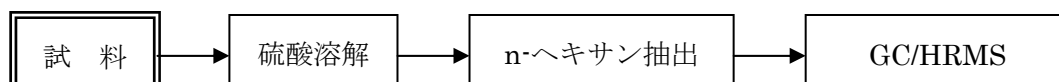
その中で有機顔料の製造、輸入事業者は、下記の期日までに副生する PCB の有無を確認し、その結果を厚生労働省・経済産業省及び環境省に報告する旨、行政指導がされています。

1. [別紙 1](#) に掲げられた化学物質については、可能な限り 5 月 10 日まで。
2. 1. 以外の海外報告書（平成 23 年 1 月に ETAD（染料・有機顔料製造者生態学毒性学協会）が発表したある種の有機顔料の製造工程において非意図的に PCB が生成されうるとの報告）に掲げられた化学物質の内、
 - ①化学構造に塩素原子を含む顔料
 - ②塩素原子を含む原料を使用する顔料
 - ③合成工程において塩素化芳香族系の溶媒を用いる顔料の要件のいずれかを満たすものについては、可能な限り 8 月 10 日まで。

（財）ひょうご環境創造協会では、これらの動きを受け、お客様のニーズにお応えするため、有機顔料中の PCB の測定を行っております。分析方法は、以下のとおりです。

<分析方法>

（「副生ポリ塩化ビフェニルを含有する有機顔料の製造・輸入等について（行政指導）」 別紙 2 の方法）



○必要試料量：0.2～1g

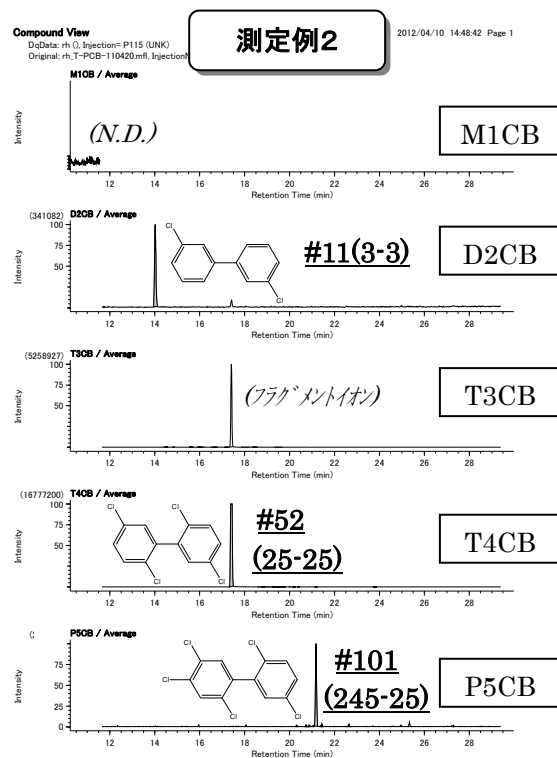
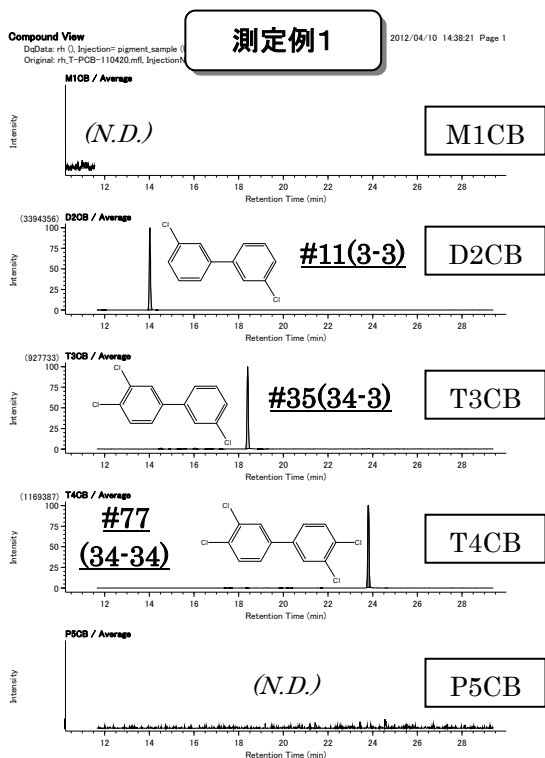
○検出下限：0.01ppm

※ 妨害物質が著しい場合は、別途、多層シリカゲルラム等のクリーンアップ操作を行うことがあります。

その他、分析方法につきましては、適宜対応致します。

<分析測定例>

(GC/HRMS による有機顔料中の PCB の測定例)



測定例 1 と 2 で分かるように、顔料は原料の成分によって全く異なる組成を示すため、汚染原因の解析などには、ガスクロマトグラフ/電子捕獲型検出器 (GC/ECD)ではなく、ガスクロマトグラフ/高分解能質量分析計 (GC/HRMS) による全異性体分析が有効です。当協会では、全異性体組成分析が可能です。

費用、納期については下記電話または FAX にてお問合せ下さい。

<その他>

有機顔料中の PCB 分析測定にかかる費用の一部は、中小企業を対象に平成 24 年度「[化学物質安全対策費補助金 \(中生産量化学物質の安全性点検\)](#)」(下限額: 化学物質中のポリ塩化ビフェニル含有量に係る分析事業については、補助対象経費 10 万円) が利用可能な場合がありますので、併せてご検討ください。

<お問合せ先>

(財)ひょうご環境創造協会

〒654-0031

兵庫県神戸市須磨区行平町 3 丁目 1 番地 31 号

TEL: 078-735-2770

FAX: 078-735-1800

担当: 森本、高橋

